

建設産業委員会会議録

令和4年3月4日（金）

午後 1時30分 開会

○沢田清委員長

ただいまから、建設産業委員会を開会します。

協議題1 閉会中の調査事項についてを行います。先進地への質問事項の回答に対する報告書について、先日まで提出いただきましたので、その内容についてご報告いただきたいと思います。視察に行っていないこともあるため、特徴的なことや感想を簡単に言っていただければと思います。水野議員から順にご説明いただきたいと思います。しばらく休憩します。

休憩 午後1時33分

〈休憩中の主な意見〉

- ・小田原市の食品ロスに取り組む事業者の登録制度、登録事業者の公表の取り組みは、行政、事業者、市民の3方にとって良い取り組みである。
- ・ごみ減量を、次世代を担う子どもたちと取り組むことを重要視してほしい。
- ・電気のLED化やCO2フリーの電気に切り替えることは取り組みやすい。
- ・小田原市は、新電力と蓄電池をベストミックスな形で利用しているため、半田市でも導入できるのではないかと。
- ・ウォーターサーバーの公共施設設置はハードルが高い部分があるが、マイボトルの促進は進められるのではないかと。
- ・小田原市は、電力の売電益を再エネのために使うということもやっていたため、半田市も太陽光発電で得た利益を今後のための補助金として使うとわかりやすいのではないかと。
- ・所沢市は民間の事業者による屋根貸しの太陽光発電をやっているため、今後建て替えをする公共施設では取り組んでほしい。
- ・川口市の補助金は地元業者を優遇し活用しているという仕組みになっており、参考になる。
- ・公共施設の屋根貸しは環境教育にもつながる。
- ・所沢市の近隣4市で再エネや市民の環境配慮促進を促す取り組みはよい。
- ・川口市の支援メニュー一覧は、補助金一覧が1発で分かり、市民にとってわかりやすい。
- ・今まで、フードドライブや、フードバンクをクリーンセンターでやることは、ごみ捨て場であったため、抵抗があったが、4月からは、リサイクルの拠点となるため、取り組んでいくことも検討できるの

ではないか。

- ・カーボンニュートラルに一番役に立つのは、電気自動車を増やし、ガソリン車を減らすことが、最も費用対効果が高いと思う。半田市も積極的にするべきである。
- ・電気の地産地消は進めるべき。官民共同で行えるよう、所沢市を参考にできたらよい。
- ・小田原市の市民参画型の取り組みはよい。
- ・市民参加の導入として、ウォーターサーバーの無料設置や、生ごみ処理機の無料配布が有効ではないか。
- ・子どもが行うことで、親も一緒になって取り組むことが期待されるのではないか。

再開 午後1時53分

○沢田清委員長

会議を再開します。次に委員会の報告について、委員からの報告書をもとにまとめたので、これを基に、委員会報告の内容の精査をしていきたいと思います。しばらく休憩します。

休憩 午後1時54分

休憩中の主な意見

- ・半田市で実現可能な提言のみに絞るべき。
- ・視察に行くことができなかったため、文書照会のみで例年のような委員会報告を作成することは、行うべきではない。

再開 午後2時46分

○沢田清委員長

会議を再開します。休憩中にご協議いただきました結果を基に、委員会報告案をブラッシュアップしてまいりたいと思います。次回は、4月5日（火）全員協議会終了後、委員会室にて開催します。ほかに、何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

○沢田清委員長

ないようですので、この件はこれで終了します。続きまして2. その他について、を行います。委員から何かございませんか。

【「なし」との声あり】

○沢田清委員長

ないようですので、この件はこれで終了します。

以上で、本日予定しておりました議事は、すべて終了いたしました。本日の委員会はこれにて閉会いたします。

閉会 午後2時48分